

# 学校だより



長子配布

強く 正しく 美しく

令和 8 年 7 月 9 日 文責 校長 林 寛

## いろいろな先生と

子供たちは、担任の先生だけでなく学年によって、音楽や理科、英語(外国語活動)などの授業で専科や級外の先生たちと一緒に学習を進めています。また、時には先生以外の先生たちから教えてもらうこともあります。例えば……。上峰小学校で作成している食に関する年間指導計画に基づいて、子供たちの発達段階や学年に応じたためあてや活動内容で「食育」の授業を実施しています。学校栄養職員や養護教諭の先生と担任が協力して、二人以上で行うチームティーチングの形をとることが多いです。右の写真は、1年生が「すききらいになくなんでもたべよう」というめあてに合わせて、学校栄養士の話をしている様子です。



次の写真は、4年生が社会科の時間の「水はどこから」という単元で、飲料水がどのように供給されるのかの学習で、事務室の先生から学校内の貯水タンクや水道管の仕組みや様子を説明してもらっているところです。4年生はクラスごとに北茂安浄水場の見学にも行き、川の水を取り込んで、ごみを取ったり消毒をしたりして各家庭にきれいな水を届ける仕組みを説明してもらいました。



その下の写真は、6年生の「租税教室」の様子です。上峰町の税務課から来ていただき、税金の大切さや使われ方、種類、そしてもし税金がなかったらどんな世の中になり、困ったことが起こるのかという話をしてもらっています。「ソーダ税」「ポテトチップ税」など日本にない税が外国にはあるそうです。私がこれまで10回以上聞いた中でNo1の話でした。



そして、最後は6/29(月)に行われた15回目の「稲文字」の田植えです。5年生の子供たちで考えた今年の文字は『まえおき』で、これは学年の目標にもなっています。梅雨の中休みで青空が広がる中、初めて体験する子供も多く、歓声や悲鳴がいろいろなところから聞こえてきました。田植えのために、生産組合や東部営農経済センター、役場の産業課、教育委員会などの皆様がたくさんの準備や指導をしてくださりました。苗の成長と5年生の前向きな成長を見守りたいと思います。



田植えのニュース動画 ↑



これ以外にも月曜朝の本の読み聞かせや、家庭科ボランティア、昼休みの遊び相手ボランティアなど、子供たちはたくさんの大人に関わってもらいながら貴重な経験を積み重ねています。

## いろいろな友達と

上峰小の子供たちは、いろいろな友達とも交流をしています。例えば、「居住地交流」といって、上峰町に住んでいて、他の特別支援学校などに通学している子供たちとの交流です。2年生は6/26(金)と7/1(水)にそれぞれ県立ろう学校、中原特別支援学校の女の子と、4年生は7/3(金)に、中原特別支援学校から男の子に来てもらって交流をしました。図工や体育、音楽など先生同士で事前に連絡して活動を決めています。子供たちは歓迎の気持ちを表そうと教室を飾り付ける



などしていました。今後交流が継続するといいなと思います(上が6/26、下が7/1左が7/3の様子です)。また、7/1(水)からは、体験入学としてスペインから6年生の男の子が来ています。4年生まで上小で過ごしていたので、リラックスして過ごさせています。スペインでの生活などみんなに教えて欲しいですね。

